

国際交流担当者各位

ニューノーマルの大学間交流国際調査
(日本から海外に留学する学生を対象とするアンケート)
ご協力依頼

留学生教育学会
大学間交流調査チーム*

コロナ禍のもと、各大学そして学生にとっては、海外との学生交流をともなう教育プログラムは中断や中止、延期、さらには企画の見直しを余儀なくされてきました。ここ数ヶ月のあいだには日本からの海外渡航が徐々に再開されてきたものの、オミクロン株の発生により、今年13日には、文部科学省が感染症危険情報レベル3の国や地域への渡航中止を勧告するに至っています。

このように将来の見通しが立ちにくい中、留学を志す学生はどのように意思決定をしているのか、留学先の国や地域をどのように決めているのか、また留学に対しどのような期待や不安を抱えているのか。本アンケートは学生の幅広い声を集めるために実施いたします。ポストコロナ期の学生交流のあり方について、みなさんと共に考えるにあたり、それらの声を参考に出来ればと願っています。貴学の学生のなかで、最近留学を経験した者、留学実施中、または待機中の学生などにご協力を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

【本調査について】

- 本アンケート調査は、日本から海外に留学をする学生、特にコロナの禍中で留学を予定している（断念した学生も含む）、もしくは留学を実施した学生を対象としております。
- アンケートの回答時間は10-15分を要します。
- 記入前に質問項目や回答オプション等をチェックしていただくために「全体マップ」も用意しました。参考にさせていただきます。

【調査概要】

- Web調査（システムとしてはREAS**を使用しています）
- 選択式質問、一部自由記述があります。質問全文は事前にチェックしていただけます。
- アンケート調査は日本語で行います。
- 期限：令和3年2月頃からデータの取りまとめを始めます。1月中にご記入をお願い出来るとありがたいです。

【アンケート調査サイト**】

<https://reas3.ouj.ac.jp/reas/q/71813>

【調査サイト質問項目全体マップ】

<https://newnormal-jointintlresearch.org/%e6%97%a5%e6%9c%ac%e3%81%8b%e3%82%89%e6%b5%b7%e5%a4%96%e3%81%ab%e7%95%99%e5%ad%a6%e3%81%99%e3%82%8b%e5%ad%a6%e7%94%9f%e3%82%92%e5%af%be%e8%b1%a1%e3%81%a8%e3%81%99%e3%82%8b%e3%82%a2%e3%83%b3%e3%82%b1/>

【お問い合わせ先】

joint-intl-research@ciee.osaka-u.ac.jp

【註】

*「大学間教育交流のニューノーマル；各種プログラムの再定義」 課題番号 20KK0052 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) 2020-2023 研究代表者：近藤佐知彦（大阪大学）

** REAS（リアルタイム評価システム）：<https://reas3.ouj.ac.jp/cgi-bin/WebObjects/top>
（文責：大阪大学・近藤佐知彦）